

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月11日

計画の名称	清水町公共下水道整備事業重点計画												
計画の期間	令和05年度 ~ 令和08年度 (4年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	清水町												
計画の目標	清水町における公共下水道の普及を促進し、公共水域の保全を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,225	A	2,225	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R5当初	R6末	R8末
1	下水道の人口普及率を76%(R5年度当初)から88%(R8年度末)まで増加する。 清水町の行政人口に対する下水道の処理人口の割合。 下水道人口普及率 = (下水道の処理人口(人)) / (清水町の行政人口(人))	76%	82%	88%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

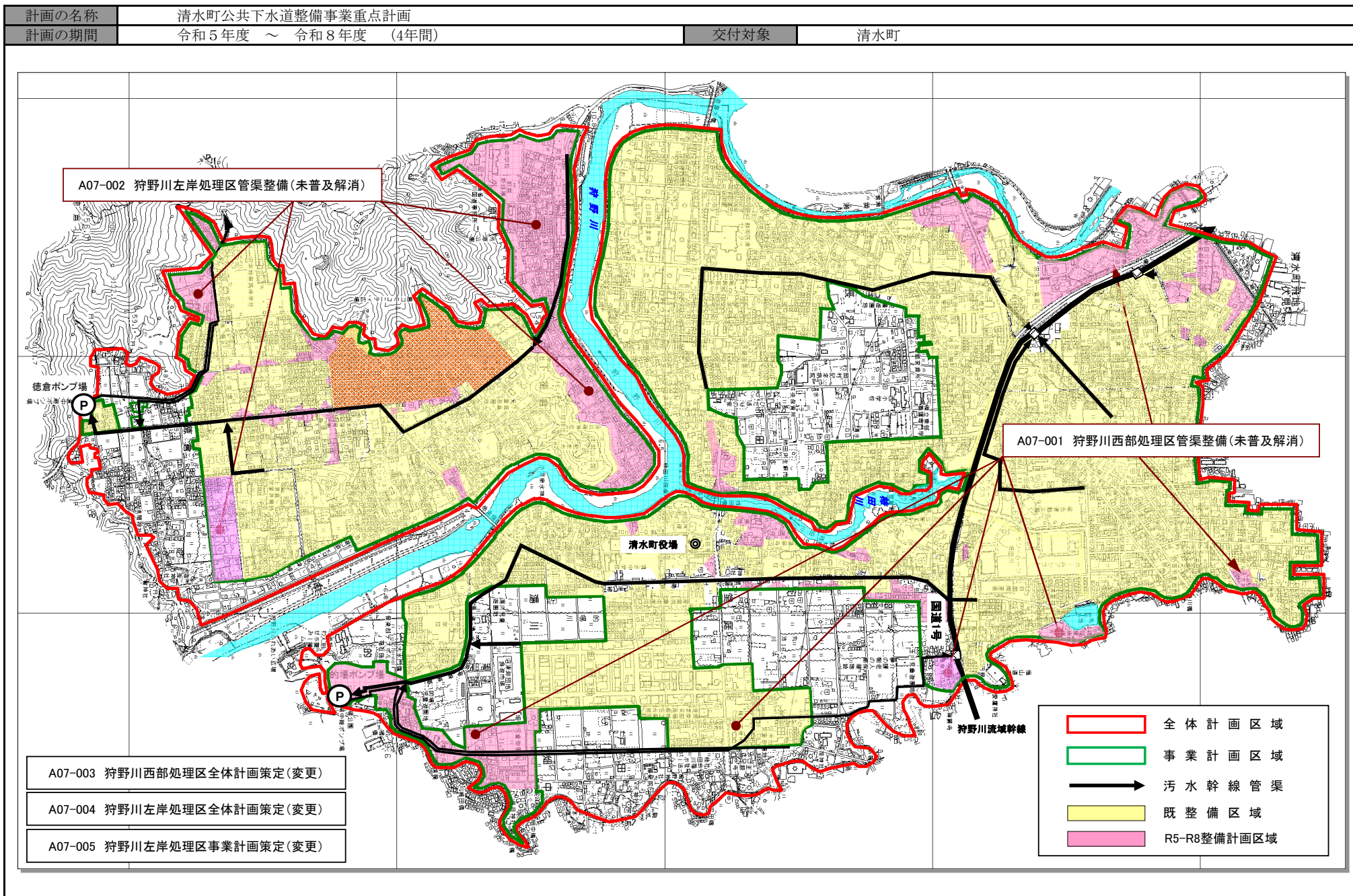
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R05	R06	R07	R08	R09			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠(汚水)	新設	狩野川西部処理区管渠整備(未普及解消)	下水道管 200mm A=27.0ha	清水町						625	-	
	A07-002	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠(汚水)	新設	狩野川左岸処理区管渠整備(未普及解消)	下水道管 200mm A=46.0ha	清水町						1,568	-	
	A07-003	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠(汚水)	新設	狩野川西部処理区全体計画策定(変更)	全体計画策定	清水町						10	-	
	A07-004	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠(汚水)	新設	狩野川左岸処理区全体計画策定(変更)	全体計画策定	清水町						10	-	
	A07-005	下水道	一般	清水町	直接	清水町	管渠(汚水)	新設	狩野川左岸処理区事業計画策定(変更)	事業計画策定	清水町						12	-	
												小計						2,225	
												合計						2,225	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面)



事前評価チェックシート

計画の名称： 清水町公共下水道整備事業重点計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。 1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性等 3) 目標及び事業内容と事業区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○